

6 どんなイメージを持っているのか



歴史や文化に魅力がある



のんびり過ごせる



夏に活気がある

自然風景が美しく、おいしいものがたくさんあるというイメージを持つ人が多い一方、イベントや体験プログラムが少ないと感じる人が多い結果となりました。

7 来訪者が訪れる目的



他にも、トイレ休憩やお土産購入などの目的で立ち寄る人が多い結果となりました。

初めて訪れる人は、旅行や観光目的が多く、団体

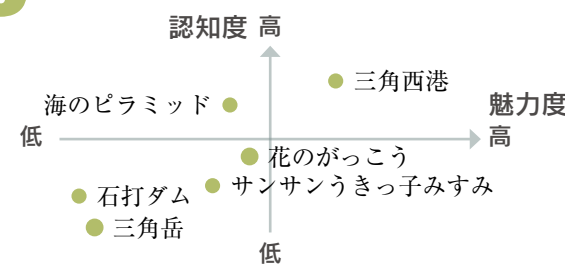
客のほとんどは観光目的で訪れています。県内からの来訪者は食事目的の人が多く、県外からの来訪者は三角西港を目的に訪れています。

8 リピーターはどのくらいなのか



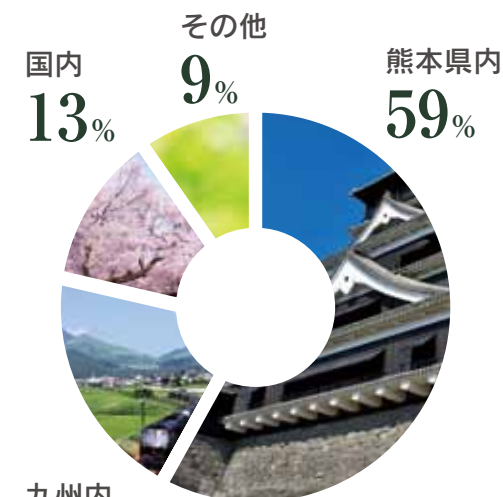
意外と多いリピーター。ただし、来訪回数が増えると消費額が減ることが分かりました。

9 観光地の認知度 × 魅力度



海のピラミッドの認知度は高いものの、体験型の施設の方が魅力度が高い結果となりました。

1 来訪者はどこからやってくるのか



来訪者の居住地は、熊本県内59%(宇城市8.7%、熊本市31.0%、それ以外19.3%)。次に九州内19%(福岡県9.5%、福岡以外9.5%)、国内13%(関東圏5.8%・関西圏3.0%・その他4.2%)となりました。

三角地区への来訪者って

どんな人!?

サンカドライブ
キャンペーンの
話の前に

このキャンペーンは調査に基づき生まれたもの。ビジネスとして地域経営を行う三角地区観光マーケティング委員会が調査。宇城市への来訪者の実態を調べました。

①調査票でのアンケート

調査方法
調査票配布による調査
実施期間
平成29年2月(全4回実施)
実施場所
三角西港、三角東港、三角町内飲食店など11カ所
調査数
841サンプル(約850×4回)
目的
来訪者の実態を知るため

②インターネットでの調査

調査方法
委託によるインターネット調査
実施期間
平成29年3月20日～22日
調査数
1000サンプル
目的
県民を対象に宇城市の認知度や観光地としてのイメージなどを知るため

2 個人客なのか団体客なのか



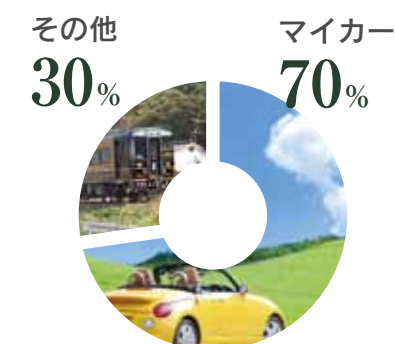
来訪者の約9割は、個人客。その内訳は、夫婦・カップル27%、友人・知人26%、家族23%、一人12%となっています。個人客の3人に1人は熊本市から訪れます。

3 訪れている年代



5 交通手段は何なのか

電車での来訪は1割未満。市内を周遊するためには、バスやタクシーなどの二次交通が必要となります。バスで訪れる人の65%は、県外からの来訪者で、そのうちの85%を団体客が占めています。



4 日帰りしているのかそれとも宿泊なのか

